明治四十五年二月二十二日（木曜日）　第八百九十三號　日刊　月曜及祭日の翌日休刊

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢
定價▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金▲五號活字十七字詰一行一回金十六錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久紳一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六大三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

京城新報

繁文縟禮の打破

官制改革に伴ふ必要事項

我政府に於ては、財政を整理し及び諸般の制度に一大改革を試みんとし、曩に臨時制度整理局を設けしが、寺內朝鮮總督も亦來る四月を以て、總督府官制の改革に着手し、行政整理の實を擧げんとす、而して吾人は朝鮮總督府の行政整理が、其財政整理と相伴はざるものあるを慨とするも、之に關する評論は他日に讓り、茲に行政整理に關聯したるものに就て一言せざるを得ざるものあり、何ぞや、總督府官署の繁文縟禮の弊乃ち是なり。

そも、政治の局に當る者は行政上に於ける無益の手數を省くは無用の經費を除く所以なることを忘る可からず、然るに我朝鮮總督府に於ける行政は、中央官廳と地方官廳との[illegible]手數殆んど其煩に堪へざるものあり、例へば出願若くは認可申請の場合にあつても、其繁文と時日の遷延とには何人も驚かざるを得ず、加ふるに動もすれば之がため時機を逸して、其請願若くは許可申請は遂に徒勞の中に葬り去ることあり、あゝ繁文の弊も亦此に至りて實に極まれりと云ふべし這は要するに朝鮮總督府のみを咎むべきにあらず、總て我國官廳の手續程面倒なるものはあらじ、現に一事件の些々たる書類すら、場合に依り幾度か却下され、幾度か提出するの煩を經ざるべからず惟ふにこれ從來我國の繁文縟禮の弊政が汎く瀰蔓して根底容易に拔くからざるに至りしものと言はずんばあらず。

由來時勢の進運は中央と地方とを問はず、事務の繁劇を促かして止まず、而かも法令制度は日を追ふて綿密となり許可、認申、知照、報告を要する事項は益々多きを加へ、從つて政費の膨脹は自然免れ能はざるものあり、之を以て行政整理の實を擧げ、延て政費の節約を圖らんと欲せば、繁文縟禮より生ずる無用の手數と無用の吏員を省除せざるべからず、人或は曰はん、法令制度の日に密を加へ事務の繁劇を增すに至りては吏員の增加は已むを得ずと、然れども吾人の見る所を以てすれば決して然らず、官吏をして今少しく事務に勵精し、勤勉の美風を涵養し以て時局の貴重を知らしむれば、繁文の弊、縟禮の煩茲に除かれ、是迄三人にて分擔せし吏務も一人にて辨じ得べきは眞に容易の事なるに、現今の官廳は其何れを問はず、時局經濟の點に於て何等顧慮せざるものゝ如し、今試みに官吏の執務時間なるものを見るに勿論一通り形式的時間に制限され居るに拘はらず、純然たる執務時間は甚だ僅少なるかの嫌あり、而かも其僅少なる執務時間中にありても、彼官吏等の多くは奮闘的ならざるを如何にせん、若それ事務の間隙より起る非執務時間を控除すれば、然なきだに僅少なる執務時間は益々減殺されつゝあり、吾人は數次官廳に出入し、親しく官吏に接觸して彼等の執務振を目擊したるが、急速を要する場合を除くの外彼等の多くは奮闘的事務に從事し居らざるを認む、而るに一面に於ける法令制度は益々繁雜の度を加へ、許可稟請報告知照に關する事項は倍々複雜となりつゝあり是れ實に現今官吏の冗漫なる頭腦と、緩漫なる執務とに反比例するものにして、斯る點は行政刷新を圖り、事務簡捷を講ずる上にたいて最も注意せざるべからざる所なり、要するに行政整理と事務の簡捷を期する事とは離るべからざるものなるを以て、吾人は朝鮮總督府の官制改革と同時に從來の繁文縟禮を打破し、之と同時に官吏をして、勵精の氣風を養はしめ、冗繁なる事務の上に一大緊縮を施し、併せて法規法文をして今少しく活用せしむる方法に出でんことを切に希望するもの也。

文範

●淋しき日（上）　人の子

ルキヤさん

今日は日曜日なのに何時もの如に水の滸りに立つて空行く雲を眺めたり野原の中に涙の泉が涸れるまで枯れ草の上に座つたまゝ泣いて見たりすることも出來ません感冒とばかり思つてゐたのが怎うやら左肺を犯されたやうで起きる力が出ませんの、外には白鳩の胸毛が飛んでる如に雪が音もなく降つてゐます、午前十時頃溫突の厚い朝鮮紙の障子を透して流れ入る白い寒さが身体を包んでゐます、未だ部屋には火が運ばれないのです、亢ぶつて來る神經を平靜にしやうと力めても狂風に揉まれてゐるやうな苛らだつた心の奧から種々な悲しい、恥かしい、追憶がソレから夫れと泡のやうに浮きあがつては消ゑ浮きあがつては消ゑしてゐます、素人下宿の主婦の眼ソレは氷よりも冷めたく蝮の眼よりも青く光ります、門を這入つた左側には駈落者と思はれる若夫婦が棲んでゐて男はヴイオリンを女は筑前琵琶を把つて何か俗謠を彈いて居ります、あゝした生活!!が樂しいのでしようか二つ前の日曜でした、何時か貴女と稻毛に行つたことを想ひ出して仁川に行きましたが暫時の間も昔のやうな美感の中に醉ふことができないので直ぐと次ぎの滊車で歸りました。

外事一束

▲獨逸宰相議會に於て曰く英陸相の訪問は政府の命令に依り英獨兩國間の相互利益問題商議に在本件に關する協商は將來に繼續せらるべきなりと

▲伊軍總司令官カネバ將軍トリポリ内地遠征準備のため羅馬よりトに歸る

▲獨英愈々近接し英獨皇帝の訪問交換英艦隊の獨逸訪問等あるに確定せり

▲土帝英帝に對し二個の最高勳章を贈呈す而も最高二個の贈呈は未曾有也

▲二月廿九日を以て英炭坑夫大罷業行はるべく各新聞之れが中止策を講ず

▲濠洲ビーク内閣愈十六日を以て退きヴエファン内閣代りて事務を引繼たり

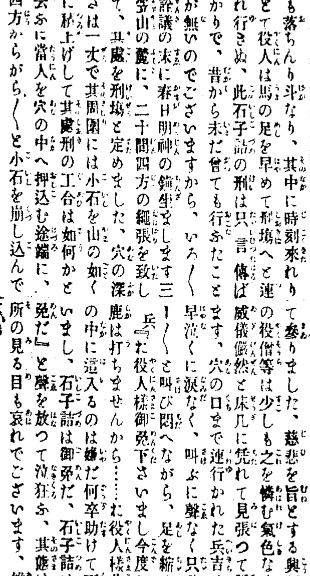
▲露國軍事上の必要より黑龍鐵道以外西伯利亞一新線を計劃するに至れり

▲土國選擧に際し回教政務院委員在野黨に加擔し基教徒候補者狼狽甚だし

梁川庄八

第百八回　小金井蘆洲演

兵吉は段々奈良の町を引廻されて、旅籠屋町へ參りました、所が有繋に町内の旅籠屋は同業者の伜の事とて、一軒も店を開けて居る者はございませぬ、面々腕白な息子を持て居ることゝて且つは何れも伜が手習朋輩の雉子屋の息子が、今日しも石子詰の刑に處せられると云ふので兵助夫婦の心を察し、町内一同遠慮して戸を閉ぢて小供を外に出さぬやうにと『坊や雉子屋の兵さんが今日は處刑になるのだから、決して外へ遊びに出でゝないよ、お前達は兵さんとは手習朋輩だから、又兵さんがお前達の姿を見ると懷しくなつて餘計に悲しむであろう』と家々皆我子を戒めて、表に出さぬやうに爲て居ります、兎煮らるれば狐悲しんで食を喫はずと云ふ、比喩がある禽獸すら幾分の愛情を含んで居るに、何事ぞ鍋屋清兵衛は無情にも、がらりと店を開いて居るのみか、店の丸火鉢のところに鹿爪らしく坐り込んで、茶を飲みながら悠然と構へて居る面憎さ、軈て清兵衛の家の前に幟竿をぞしんと下し、馬の足を止めたのは是れは昔から能く行ることでございまする、斯う云ふ重い罪人が出れば引廻しの折は必ず其訴へた者の家の前に馬の足を止めて、其方の訴へに依て此度重き處刑に行ふぞと云ふことを示す爲め、是れは德川時代の舊例でございまする、そこで鍋屋の家の前にぴたりと馬の足を止めると、兵吉は血の涙を振い齒嚙をしながら『怨めしや鍋屋の爺さん』と一聲叫ぶと見物人は吶と一度に、大勢『鍋屋犬の糞で敵を取るな、汝が惡くつて雉子屋の親爺に遣込められたのを遺恨に思つて何の怨みもねへ雉子屋の伜を處刑に出すとは何事だ、助かるべき一人息子を殺してそれで汝心持が宜いか、此惡黨いや此阿呆め、雉子屋の息子た前がた處刑になつたならば火の玉になつて鍋屋の家へ轉つて遣れ』とわつ／＼と怒鳴つて居ります、然るに役人は之を制止せんともせず、もつと言へと云はぬばかりの顏付、實は斯ふ云ふ罪人を出すのは役人も大きに迷惑な話でございます、有繋鐵面皮の清兵衛も見物人の惡口雜言に堪へ兼ねてか、何喰はぬ顏して突と立上つて奧へ引込みました、見物人はます／＼罵り叫ぶ聲鍋屋の棟も落ちん斗なり、其中に時刻來れりとて役人は馬の足を早めて刑場へと運れ行きぬ、此石子詰の刑は只言傳ばかりで、昔から未だ曾ても行ふたことが無いのでございますから、いろ／＼詮議の末に春日明神の鎮坐ます三笠山の麓に、二十間四方の繩張を致して、其處を刑場と定めました、穴の深さは一丈で其周圍には小石を山の如くに積上げして其處刑の工合は如何かと云ふに當人を穴の中へ押込む途端に、四方からがら／＼と小石を崩し込んで積殺さうと云ふ無殘極まる刑罰でございます、見送りの人々は堵の如くに集り聲を揚げて泣き叫びワーと騷ぐ、兵吉は軈て馬から抱下され蓆の上に坐るや否や床机に掛つて居る役人が只今で云ふ宣告則ち『春日明神の御使者なる鹿を殺せし罪輕からず古來よりの掟に則り石子詰の刑に行ふものなり』と云ふ切掛けに、突然三人の役人が來つて喚き叫んで居る、兵吉の脇の下から手を差入れ、又一人は帯際を取て三人ですつと抱上げて、彼の穴の椽まで持て參りました、慈悲を旨とする興福寺の役僧等は少しも之を憐む氣色なく、威儀儼然と床几に凭れて見張つて居ります、穴の口まで連行かれた兵吉は最早涕くに涙なく、叫ぶに聲なく只ひいー／＼と叫び悶へながら、足を縮めて『兵た役人樣御免下さいまし今度から鹿は打ちませんから……た役人樣此穴の中に這入るのは嫌だ何卒助けて下さいまし、石子詰は御免だ、石子詰は御免だ』と聲を放つて泣狂ふ、其態は餘所の見る目も哀れでございます、雉子屋の夫婦は手に手を盡して我子を助けたいと思つたが折角の苦心歎願も其甲斐なく、いよ／＼今日た仕置と定まつたのでせめては一目彼が姿を見んものと、兩の瞼を泣腫しながら親類縁者に扶けられて刑場に行て見ると、天にも地にも只た一人の最愛なる伜兵吉が、今しも三人の役人に懷抱へられて、あはや埋められる、穴は淺けれど一たび投込まるれば、此世を隔つる三途の川、兵助夫婦は此有樣を見て轉ぶが如くに泣狂ひ地團太踏んで、助けを呼んで居ります、



東京電報

▲**選擧法改正案の提出**　選擧法改正案は二十一日樞密院の議に附せられ二十三日衆議院に提出せらるべし

▲**下院豫算總會**　二十日衆議院豫算總會に於て五件の追加豫算を可決せり

▲**大博覽會費の振替**　大博覽會は中止に決定したるを以て豫て鐵道院が之に要する費用を計上し居りたるは他の工事に振替を爲す事に決定せり

▲**歐米觀光團の來朝**　歐米觀光團員五百二十五名は來る二十六日横濱着の筈なり

▲**何事の奏上？**　二十日西園寺首相齋藤海相長谷川參謀總長乃木河村及大島の三大將は打連れて參內し何事か重大事件に就て奏上する所ありたり

▲**上院活氣を帶ぶ**　二十日の貴族院豫算總會にては議員と政府との間に道德及宗教に關する押問答あり非常なる活氣を呈したり

▲**米の民國承認運動**　米國にては中華民國の承認をなすべしとの議論盛にして政客之れが運動をなすもの甚だ多し

▲**奉天の平和謳歌**　十九日陸軍省着電によれば奉天總督公署を始め一般民家は民國の國旗を掲げ又城內の一米人は民國旗と米國々旗を掲げたり

▲**鐵嶺も終に開城**　十九日某所着公電によれば鐵嶺にては十九日夜自治會商務總會等にて革軍に抗抵の不可を決議し知縣に向つて開城を迫り知縣も終に之を承諾せしかば同地は無事革軍の手に歸し官軍は鐵嶺南方十清里の處にありて之れが恢復を策しをれり

北京特電

▲**使臣祝賀と答禮**　英露米獨伊の各國公使は十九日袁世凱を訪ひ祝賀を述べしに袁世凱は二十日答禮の爲め右各國公使を訪問したり護衛及び沿道の警戒頗る嚴重を極め殆んど帝王に於ける禮の如くなりし

▲**袁電訓の要旨**　十八日袁世凱の藍天蔚に發せし電報の要旨は東三省の地は從來國際に關係を有し若し紛擾を起し大局を誤まらば國家の負ふ責任大なるを以て宜しく地方官と平和協議をなすことを希望するにあり之に對し藍天蔚は國民の爲めに平和を圖るべく袁大統領よりも電命の主旨を東三省官民に電照せられむことを望むとの返電を發せり

上海特電

▲**革黨北滿に活動**　哈爾賓に潛伏中の革命黨は十七日同地の支那官衙を襲ひ傅家甸巡警衙門を占領し巡警は降伏して腕に白布を卷きて引つゞき職務に從事し露國は附屬地境界二十歩毎に歩哨を配置し更に騎兵一ケ中隊を出し警備に任せしむ

▲**袁の南下を望む**　南京に於る多數の參議院議員は袁世凱の南下を期待し居れるが孫逸仙、黃興の如きは一週間內に之を實行せしめん意氣込ありと

雜報

●**議會と朝鮮問題**　二十日午後七時總督府公電によれば二十日貴族院に於て豫算總會を開き大体の質問あり分科會に移し三月二日迄に審査の筈なり

●**歐亞連絡時刻**　來る六月一日頃より鐵道院全線及び朝鮮滿洲各鐵道の連絡時間改正の準備中なることは既報の如くなるが目下既に內定せる改正時間の大要を聞くに現在の新橋午後三時發翌日午後八時二十五分下關着關釜連絡船への接續時間は其儘に存して別に新橋哈爾賓間の直通連絡時刻を設定すべし同時刻は午前八時新橋發翌二日午前十時下關着、關釜連絡船に接續し同十一時解纜同日午後十時釜山着、同十一時三十分釜山發、翌三日午前七時京城南大門着、同日午後六時新義州着、同七時發、翌日午前一時奉天着、同二時奉天發、午前九時頃長春着、同十時長春發、午後九時哈爾賓に着すべく即ち新橋より四日目に哈爾賓着の割合なり此直通時刻は釜山以西は一週三回なるも其三回以外の通常時刻に於ても哈爾賓着は右直通時刻に比して約二時間半位遲着するに過ぎず大体に於て現行時間より著しき速達を得るに至るべしといふ

●**土地改良奬勵實施**　總督府は四十五年度土地改良奬勵費として三萬圓の豫算を同年度豫算案に計上したるが右は慶南北全羅南北の各道に於ける南朝鮮の溜池を改良するに在るものにして來る四月下旬より夫れ〳〵主任技師を派遣すべく明後四十六年度も同方面の改良奬勵を行ふ筈にて目下準備中なりと云ふ

●**鮮鐵と撫順炭**　撫順炭坑にては今夏の出荷閑散期を利用し朝鮮鐵道に三萬五千噸の石炭を供給する豫定にて其大部分は安奉線經由安東縣渡とする筈なるも必要に應じ大連より汽船にて仁川揚をもなす事あるべしといふ

●**土地調査期**　京城土地調査局にては來年度より京城の土地調査に着手すべき意向あることは昨紙記載の如くなるが右に關し調査局にては京城府廳と打合せの必要あり二十日俵副總裁は石原府事務官と會見し大体の方針を述べたる由なるが若し實行のことに決定しなば最初は土地所有者より府廳に宛て申告を爲さしめ其の上にて着手すべく多分其の時期は八月頃なるべしといふ

●**東拓重役の內訌**　每年議會の問題となり常に社會の耳目を惹ける東洋拓殖會社は一般世上の批難に加ふるに今や同社內二派の暗流によりて益々紛亂を極め社內の醜聲社の外部に迄喧傳せられんとするは同社の爲め痛嘆の至りに堪へざる次第なるが過日吉原副總裁東上前に當り連日重役會議を開き重要なる問題に付鳩首謀議したる內容に就ては事秘密に屬し素より吾人の揣摩を容さずと雖も今同社某有力者の漏す所に依れば該會議の席上は嘗て見ざる論難攻擊を以て充され席上宇佐川男は世論に顧み從來の姑息なる移民方針を改め大部團の誘致を爲さんことを主張し尚現在の俸給率を改め下級社員を優遇せんと提議し又吉原氏の計劃せる舍宅建築に就き社員六十軒を僅に八百圓（書記は一軒四百五十圓）にて建築し之れに引替へ重役五名の舍宅を十八萬八千圓も投ずる如きは餘りに不權衡なりと主張したるに吉原一派の大反對を受け某重役の如きは移民は一人に就き約六十圓の補助を要す若し總裁の意見を實行せば會社は大損失を蒙るべしとて數字を列べて移民亡滅論を說いて總裁の意見は悉く排斥されたり於茲乎宇佐川男も從來の方針を改むる能はずとせば此儘東上して補給金の繼續運動を爲す勇氣なしとて上京を肯んぜず止むなく吉原副總裁の東上を見たる次第なり而して宇佐川男は唯總裁の名を擁するのみにて何等の實權なきを覺知し爾來快々として樂まず既に明治四十六年五月は重役總改選の期に迫れるより多年の惡評はかゝりて自已の雙肩に歸し到底再撰の望なきを見越し此際潔よく引退せんと決心を爲せりと云ふ事茲に至りては如何に厚顏なる他の重役と雖も晏如として其任に留まるが如き事非ざるべく遂に重役總辭職の止むなきに至るべし斯くて東洋拓殖會社一新の期來るべし云々（日本電報通信）

●**南鮮地方衛生狀態**　過日南鮮地方各開港場に於ける防疫狀況視察を終へ十九日歸任せる警務總監部衛生課長中野警務官の談に依れば各地何れも驚くばかり發達しつゝあるが其衛生狀態は差したる事もなく彼の慶南統營に於けるチブス病は一時大に漫延の兆ありしも根本的豫防撲滅に努めたる爲め目下新患者の發生するものなく不日終熄の見込なりと云々

●**地方廳增員の詮衡**　明年度より各地方道廳に增員さるべき技師及び技手書記等は目下夫れ〳〵詮衡中なるが其判任官に對しては昨年府郡書記講習會を開きし如く講習會を開催するの內議ありと云ふ

●**漁業稅令施行規則**　漁業稅令施行規則は目下頻りに審議中なるが來る三月十五日頃總督府令を以て發布すべしとの事なり

●**全道警察署長會議**　憲兵司令部にては全道憲兵隊の副官會議並に警視會議開催の由にて期日は多分三月六日頃より四日間なりと云ふ

●**水產主任の召集**　曩に發布されたる朝鮮漁業令は愈々來る四月一日より實施する事に內定したるを以て總督府にては來る四月各道水產主任を召集し右實施に伴ふ會議を開催の筈なり

●**最近の籾價格**　二月五日の現在に於ける籾の價格に關し京城外十九ヶ所の市場に於ける平均相場は上品一石六圓六十二錢中品六圓十三錢、下品五圓六十七錢平均六圓十四錢にして一月廿五日の相場に比すれば平均三錢高なりと云ふ

●**上田大將送別會**　當地官民有志の發起にて來る二十四日午後六時三十分より元朝鮮駐劄軍司令官陸軍大將上田有澤氏の爲め花月樓に於て盛大なる送別會を開催せんと目下夫れ〳〵準備中なり

●**機業傳習所の計畫**　京城府にては來る四十五年度に於て產業奬勵に資する爲め新に機業傳習所を設け少くとも約四十名の生徒を養成せんとの計畫中にて目下之れが經費其他の設備に就き考案中なりと

●**朝鮮教育會倶樂部**　朝鮮教育會倶樂部第一回總會は既記の如く二十一日午後七時より會議所に開會すべく出席者は關屋會長弓削副會長以下南大門横山小學校長等百三十餘名なるが當夜は水原模範場長本田博士の農業に關する講演ある筈なり

●**京城府最近徵稅成績**　二月十五日現計の京城府管內の四十四年度第二期家屋酒稅徵收成績は家屋稅は調定額二萬一千六百五十四圓收入額一萬六千七百三十五圓收入歩合七割五分酒稅は調定額五千〇一圓收入額二千九百三十圓收入歩合五割八分にして又た其の四十五年度煙草稅及び地稅は煙草稅調定額四千五百九十圓收入額一千三百二十圓收入歩合二割八分地稅調定額四千三百五十二圓收入額一千〇二十五圓收入歩合二割三分なるが城內に既に全部徵稅を終りたるものに屬するを以て目下城外八面中徵稅成績不良なる部面に對ひ五名の吏員出張納稅督勵中なり

●**京畿道と農業技師**　京畿道廳にては這回の府尹郡守會議の結果四十五年度に於ては一層產業奬勵施設に對つて努力することゝなり少くても管內樞要の二三郡に對つては廣義に於ける農業技師を置き鋭意地方農產の發達に努むべしと

●**臺灣鹽移入と今後**　當地三井物產會社出張所の臺灣鹽移入に就き聞く所に依れば朝鮮に於ける鹽の需用は主として關東鹽山東鹽の輸入に依り充たさるゝ狀態なるに恰も昨年は就中其の大部分を占むる關東鹽の製鹽額減少し自然輸入減少を示したるに一方には朝鮮內地に於ける鹽の需用激增したるを以て昨年冬季支那沿岸の結氷前に朝鮮へ移入されたる鹽のみを以てしては到底鮮人間に其の需用最も多き十一月及び二月の兩需用期に於ける需用を充す能はざるの豫想たりしを以て三井物產にては取り敢ず木浦仁川の二港を經て臺灣鹽約五百萬斤の移入をなしたる譯にて其の價格の如き臺灣鹽は關東鹽等に比し百斤に就き普通三十錢高なるをも顧みず只當面の急に應ずるが爲めに敢て之れが移入を試みたるものなれば再び關東鹽の輸入を見るに至れば臺灣鹽移入の如き不引合なるは明かなる事實にして當地三井臺灣移入の如き一時の現象たるに止るものなりといふ

●**商工調査總會**　京城商工調査會にては第二次總會を二十二日午後七時より京城日本人商業會議所に於て開會し一京元鐵道開通後經濟貿易上京城の被る利害調査の件、二京城商業の勢力範圍並に今後の營業方針調査の件、三內地及朝鮮貨幣統一に關する調査の件、四電燈及瓦斯供給を一會社に於て爲すの弊害を調査の件、五前會に於て決議したる輸入商組合組織に關する件等を協議し十時三十分散會したりといふ

●**仁川民會開設**　仁川民團は廿三日午後七時より第十回民會を開催す議案は小學校改築認可に對する該豫算中起債の件更正認可の報告及び民團稅規則墓地規則等の改正外二三件なりと

●**澤代議士の來京**　國民黨政務調査の爲め過般當地通過淸國へ出張中なりし宮城縣選出代議士澤來太郎氏は二十一日午前零時五十分南大門驛着滿鮮直通列車にて入京巴城館に投宿したり氏は當地に二三日滯在の上曩に同黨より總督府へ依賴の政務調査書受領し東上すべしと云ふ

●**佐々木代議士入京期**　澤代議士と同行着京の筈なりし代議士佐々木安五郎氏は途中澤氏と別れ二三日遲れて當地着の由なり

●**杉村大佐の去來**　平安南道警務部長杉村大佐は海州地方視察の途次十八日入京憲兵司令部と事務打合せの上二十日夜仁川より乘船海州に向へり

●**福井市の朝鮮視察團**　福井商業會議所にては目下朝鮮實業視察團募集中の由なるが來る六月始め當地着の豫定なる旨或る筋に通報ありたり

●**釜山府尹の入京**　釜山府尹若松兎三郎氏は二十一日朝着入京巴城館に投宿し直ちに總督府に內務部長官を訪問し釜山民長人選問題に關し打合せする處ありたりと

●**明石總長の全快**　微恙の爲め官邸に引籠り靜養中の明石總長は二十日全快登廳したり

▲**京城手形交換高**

二月廿一日	枚數	金額
	四六〇	二二五、二三六、九二〇

●**半島鑛業振興上の意見**（十四）

▲某實業會社理事談　自分は曾て鑛山に經驗がないから振興策などゝいふ大袈裟な意見を述ぶることは出來ないが節角の御尋ねであるから二三頭腦に泛んだことをお話しいたさう、一体朝鮮の鑛業開發に就ては民間側よりも當局が先棒になつて力を盡さねばならぬ成程農業、山林、水產の開發も必要である當局が是等產業の開發に就て常に意を須ゐて居ることは大に多とするが併し鑛業の方面は什うか、何等の施設經營がないではないか、といふと或は他の事業とは聊か物が違ふといふだらうが却々ソウではない少なくとも民間の事業家其の者のために總ての便宜を圖る方法は有る筈だ、若し一歩も二歩も進んで財力にして許すならば官營としても宜い鑛業は大資本を要するもので日本の如き大資本家の乏しいところはトテも鑛業の發達は覺束ないとしたならはイッソのこと官營にして一日も早く開發の歩を進むるの勝れるに若かずだ、が併し政府も大資本家でないのだから實行は六ヶ敷からう、這は單に自分一個の理想としてサテ自分の知つてゐる範圍に於て聞くところに依ると總督府では從來に於ける所謂空權家の弊害を慮つて近頃では鑛山採掘の權利を容易に許さぬとかのことだ成程ソレも宜い併し其の方法にのみ依ると信用あり資產ある眞の事業家なるものは什うする、夫れよりは却つて許す丈は何人にも許して實際着手の期を嚴重にしては什うか、されば實力のないものは自然陶汰で權利を放棄してしまう所謂土砂の中から金を拾ふ積りで遣つては什うだらう、夫れから更に當局に告げたいのは內地の如く試掘の期間を設定されたきことだ尤も許可後一ケ年間は着手の猶豫を與へられて居るが試掘は試掘として特別の方法を設けて貰いたい、ソウでないと事業家は勿論第一資本家が躊躇をする、といつて試掘必ずしも全班の成績を確認する譯には行かぬが少なくとも其の鑛山に就ての大体の成績を見ることが出來る、ツレからもう一ツは鑛山の所在地を調査して起業者の參考に供しては什うか尤も這は或る事情の關係上不可能の事でもあらうが何等かの方法の下に出來ぬ

●**澤代議士の支那時局談**

▲清國問題も一段落を告げたやうなもの、本舞臺は之れからだ、皇帝退位し同時に臨時共和政府が出來上つたもの、這は形丈で革命黨の所謂異の共和政治なるもの、精神は一も認むることが出來ないといつて宜い、換言すれば袁の成功で革の敗北だ、ところで元來袁は其の人物餘りに巧慧老猾で單に自已の政治的野心と慾望とを充たすことにのみ腐心し少しも共和思想などゝいふものはなく何ちらかといふと守舊派に屬する方であるが其の守舊派も他の守舊派に屬するものとは趣を異にして些つとも勤王心がない、即ち今回の政變は一に袁の手段に致されて革命黨はスツカリ鼻毛を拔かれたのである、斯かる人物が臨時

▲共和政府の大總統となつたのであるから形式は兎も角其の施政方針は推して知るべしである、されば從來南方革命黨に助力した所謂日本の志士なるものは唯に袁の野心と慾望とを逵うせしむる犧牲となつたのである、約言すれば袁は形を捨てゝ實を取り、革命黨は實を捨てゝ形を取つたのである、而して若し此の觀察にして過りなくば第二に來るべき統一政府の施政方針は今より類推するに難くはない殊に日本に對する態度如何は火を睹るより瞭かである詳言すれば南北の首領袁孫は

▲由來親米派にして　殊に袁の如きは其の心底排日思想を抱いて居ることは明確で這は何人も見逃してはならぬことだ加之將來新たに成立さるべき統一政府の主義綱領としては人心〳〵を新たにすべきは勿論であるが其の人心を新たにすべき唯一の標榜は要するに對外硬及び利權回收の二者にあることは言ふ迄もない、果して然らば其の惡影響を受くる國は何處かといふと外でもない日本である、況んや日本が今回の時局に就ての態度の如何にも無方針無定見にして南北双方より寧ろ惡感を以て迎ねらるゝに於てをやだ、されば若しも日本が其の惡感を刋除することに努めず現在のまゝにして放任するに於ては將來益々之れが惡感を深大ならしむるにいたりはしまい乎而して之れが惡感を

▲刋除するの時機は　現在を措いて他に求むることは出來ぬ現在が即ち其の時機なのである換言すれば統一政府の成立前に惡感刋除の方法を講せねばならぬ若しも此の時機に於て之れが方法を講せざらん乎或は恐る我が對淸政策は根本に於て破壞さるゝやうなことになりはしまいか（つゞく）

●歌舞伎座燒失

▽非常報知器の不備

二十一日午前三時十八分旭町一丁目十五番戶歌舞伎座内より出火し劇場一棟及び附屬住宅一棟總建坪九十五坪を燒盡して同四時鎭火したり出火を知るや場所柄とて警鐘を亂打して非常を傳へ南部署よりは今村署長以下四十八名守備隊より將校引率の下に兵卒五十名憲兵隊より二十名現場に駈け付け協力して民團消防常設消防の各隊を督勵して消火に盡力せしめ避難者及び物品の搬出等を助け非常線を四方に張つて一般人の出入を禁じたれば遺憾なく消防に盡力するを得て大事に至らずして鎭火するを得たり同座は秋吉富太郎氏の所有に係り野口松五郎に對して一ヶ月百八十圓にて賃貸しつゝあるものにて損害額は劇場及び附屬住宅七千圓道具衣類約八百圓俳優等持品三百圓外野口松五郎の現金五百圓同夜の觀劇料三百五十圓合計八千九百五十圓なりと出火の原因は前夜閉場後座蒲團に過つて火を落したるなり何しろ人家の稠密せる場所とて死傷者を出さんことを慮り鋭意避難者の救助に努めしが狼狽して逃げ惑ひたる野口秀一(十八)は頭部を同座出勤の俳優松川八百次(三)は面部を火傷したるが何れも輕傷なりし罹災後の同座附近は慘憺たるものにて餘燼尚濛々として數名の人夫が後仕末に從事し居れり同座の右隣尾佐藤友之助方には煉瓦の防火壁ありしため辛ふじて類燒を免かれ向ひ側の營本吉松及び泉永三郎方は軒表戶燒かれ理髮店鮎川萬作方及び同座背後の高處に在る基督教附屬の建物は火焰のため硝子戶數枚を破壞されあり尚飛火は南大門外に迄達し鮮人家屋茅葺屋根四棟に燃ね移りたるも直ちに消し止めたりと何時ものことながら京城の警鐘は音響の弱きにや昨曉の出火に際し本町通南山町明治町太平町等に住める市民の耳朶に少しも聞こゑざりしもの、如く全く知らずして過ごせる人多數なり斯くの如くんば吾人は決して枕を高くして一日の勞務に疲れたる身心を休息する能はざるなり若し安眠を貪れる中附近より出火して町の一劃を燒盡する際に市內數町を離れざる處にさい達せざる警鐘の響きに目の醒むることなかりせば遂に燒殺さるゝを免るゝ能はざればなり

●九州地方を荒せし賊

▽龍山にて南部署の手に

十八日午後十一時三十分頃旭町二丁目歌舞伎座內小島辰雄が純金指輪二個外衣類雜品十六點價格百八十圓七十五錢を竊取されたる屆出でに接し南部署長野岸佐藤の三刑事が現場に臨檢取調べの上犯人の目星を着け所在を搜索中十九日午後四時龍山停車場前にて取押へ本署に引致嚴重取調べたれば包み切れずして罪狀を逐一自白に及びたり斯奴は熊本縣飽託郡元山村六百十四番地當時住所不定無職土橋常造事鶴田常造(二一)とて去る四十二年三月唐津地方裁判所に於て竊盜犯にて懲役六ヶ月に四十三年十二月鹿兒島地方裁判所にても同罪にて懲役一ヶ年に處せられたることあり四十四年十二月十五日滿期出獄するや本年一月上旬以來熊本佐賀福岡の各縣下を荒し廻りて一月下旬仁川に流れ込み本町二丁目鈴木藥店に雇はれ中家人の隙を窺つて銀側懷中時計一個信玄袋外二點現金九圓を竊取逃走し敷島遊廓一山樓にて費消し二月九日京城三阪通野村製酒場に奉公中綿緬兵兒帶インバチス鳥打帽子に現金二圓九十錢を引つ攫んで逃げ出だして下仁し敷島一進樓にて鮮人に托して兵兒帶其他を入質費消の其の足にて開城大和町松原旅館に投宿し宿料を踏んで逃走し京城に舞ひ戾りたるものにて歌舞伎座にて一仕事したれば釜山方面に高飛びせんものと龍山旭橋肥前屋旅館に山田正成(二)と僞名して宿泊し同家の女中田島ことに賴みて米澤男袷外四點を老松町毛利質店に十五圓にて入質し乘車せんとする處を押へられたるなりと

●五人組强盜就縛

▽仁川署の機敏に敬服

仁川府多所面禾洞如意里一統三戶雜貨商金雲鶴方へ去十六日午前○時三十分頃五人組の强盜押入り金雲鶴を縛し刀を突付け脅迫して現金四十三圓朝鮮木綿四疋代三十七圓銀側懷中時計代十四圓其他雜品を强奪し悠々として同家店頭に吊しありたる草鞋を取りて穿替立去りたりしとの急報に接したる仁川署には直ちに該犯人の搜査に著手し十九日午前十一時宮町派出所の杉田巡査は區內の各質店に就て取調中新町遊廓質店に入質ありし朝鮮木綿一疋が恰も該臟品と必適せるを以て玆に搜査の端緒を得仁川砂村洞金漢寶方柳明根(二三)昌洞七統三戶崔永俊(二七)同人方崔永民(二五)同洞高祐範(二三)前記金漢寶方李富石(二三)及自分との五名共謀なる旨自白に及びたるより杉田、朴、咸の三巡査は直ちに彼等の取押に着手し二十日午前九時頃迄に全部逮捕するに至りたるを以て野村警部嚴重取調べたる處該臟品中現金五十四圓と懷中時計は龍洞朴道弘方に預けありたるを以て之を押收し身柄は二十日檢事局へ送らる

●人妻の離籍請求

▽賣淫を强ゐられたる女

仁川花町二丁目二十五番地の十六居住原籍岡山縣都窪郡撫川町大字撫川百七十一番地戶主久吉(三八)の妻鳥越りう(三一)が良人の無情なる處置に憤慨し離婚の訴を仁川區裁判所に提出したりとの事を聞知したるより定めし深き事情あるべしとて探訪したる所に依れば前記りうは二十九年中久吉に嫁したる者にて同棲農事に出精中なりしが三十六年に入り久吉は豫て懇意なる岡山市西大寺町の質商相良某及同人の妻にして當時同市鍋之町に日の出屋と云ふ料理店を營みつゝありしりうなるものと相談の上當時起工されたる京釜鐵道敷設工事從事中の工夫相手に小料理屋を開業せば面白かるべしとて諸般の打合せをなし妻のりうには工夫に供給する日用雜貨の販賣業を開業するものなりと欺き栢姓不詳れい(當時二十八)と稱する婦人と一行五人鄕里を立出で大坂商船の白川丸に便乘渡鮮し一先づ釜山西町三丁目山本下宿屋に投宿せしは同年四月二十日なりしが滯在一週間にして總ての準備を整へたる同行五人は陸行三日にして慶尙南道情道の一里南『オンコーロー』に到着し直ちに朝鮮家屋を借受け住居を定めたればりう等は安心の胸撫で下す間もなく飲食店を開業すると同時にりう及びきいの兩人に對し客の枕席に侍ることを命じたるにぞれいりうは此時初めて良人の罠に罹りし事を知り身も浮く斗り泣き悲みしが兎ても企みし事なれば憐れと見る者はなく强いて操の切賣せしめられしこそ無情けれ斯る間にも月は經ちて十二月初旬に及ぶや歸鄕中なりし相良は妾いつるの私生子きよの(十七)を伴ひ歸り此にも賣淫を强ひ居る內間も無く相良及びれい、いつる、きよのの三人は退韓處分を受けしより三十七年一月中旬一同同地を引拂ひ『トクサン』まで引揚げたる時鬼の如き久吉はりうを大邱の石原とか云ふ料理店に賣飛ばさん目論見ありと聞きたるりうは今は猶豫ならずと夜に乘じて何方と目的はなけれども前後の思慮も無く逃走を企てたるが暫時して失れと知りたる久吉は命の綱を失ふて堪るものかと直ちに『ジョゲン』巡査駐在所に搜索方願出でたるより數日の後引戾されて取調べを受けたる際たりうは好機到れりと吾から進んで良人の處置の一伍一什を陳述したるにぞ久吉も召喚され說諭の上同所大久保巡査の斡旋にて離婚する事となり双方承諾したるは三十七年七月中旬なりき其後久吉は何處へ行きたりけん住所不明にて從つて右の一埒を進行せしむる如もなく今日に至りたるものなるが這般右住所判明したるを以て戶籍上の離籍を請求する次第なりとぞ

●迎日丸の大椿事

▽爆彈使用の漁獲
▽船員某の大負傷

下の如き投書あり大に新聞に屬すれども事實穩かならざるを以て揭載することゝなしたり、時は四十四年八月中の事なりき總督府所屬航路標識管理所は所屬船迎日丸に工事用のダイナマイト不用に付投藥方を船長德原某に托したるに同人は其內の幾分を殘し置きたる內を魚類獲取の爲め其際一回使用し無事に歸航せしが其後航海中に又々魚類獲物に使用せんとせしに導火線短かりし爲め船上にて破裂し乘組員平木某は逃げ場を失ひて手首を燒切られ足部に大負傷を蒙り仁川病院に入院數十日に互り退院せしかども不具者となり大椿事を秘密に附し居るは監督上如何のものにや云々事實にして眞ならば何日に變らぬ臭蓋主義嚴重戒飾に値す

●龍山座の失火

▽原因は座蒲團より

二十一日午前八時頃舊龍山榮町龍山座芦澤つや方より出火あり之れが原因は不明なれども往々有勝ちなる前夜興行の觀客の煙草の吸ひ殼より座蒲團に火が移り居りたるを心付かず其座蒲團を重ね置きたるより燃ね出したるもの、如く此の火焰を近所の者見付け同時に多數の者直ちに馳せ付け消し止め大事に至らずして濟たるは不幸中の幸なり

●仁川の鹽船沈沒　仁川本町一丁目國近新藏所有鮮船第五十一號は十七日午後四時三十分頃鹽取丸より支那鹽四十五噸代金四百五十三圓六十錢を積載し落町仁川製鹽所に航行中折から西風烈しく繫留中の朝日丸の錨に觸れ船底を損傷し見る〱內に浸水沈沒するに至りたるなりと

●竊盜　京城本町十丁目三番戶宇野助市は自宅に於て二月廿日午前九時より午後五時に至る不在中銘仙羽織一枚價格七圓一樂綿衣一枚價格五圓を竊取され其旨錦町分署に屆出づ

●痘瘡に罹て死亡　京城青坡龍山坊三契三十七統六戶日稼業金鎭國(三六)は二月十日痘瘡に罹り十六日西大門分署に於て發見順化病院に入院せしめたるも廿一日朝死亡したり

●笞五　京城南部誠明坊草洞七統四戶獸肉販賣業金勉濟(三三)は自宅店舖にて獸肉容器へ蓋を覆はざる爲め銅峴分署に引致笞五つに處せらる

平民文庫

▲太平町のそばや更科の亭主は隣の小娘に悶惚つて盛んに其小便臭い尻を覗つて居る鼻の下が延びたること宵越のそばの如し(近所の男)▲辻久代に關する投書は都合あり沒とす(係)▲飲山谿主任さん良い歳をして若手といがみ合でも無つべー夫に君の方がチト理窟が惡かつたよ(無能總代)▲或高襟なた役所の隊長さんは口臭き佞人に丸められて內憂外患の混雜に遭遇して居る詳細投書しませうか(瓦解近焉)▲豆時の晩或る處で花月の光菊と情約を締結した二本筋の總角さん一件は其後如何なりましたか(水邊花一)▲僕は元から顔が赤くて困るが何か白くする法はありますまいか(本町生)▲京城の士君御同情を謝す(係)▲下宿屋などで客が出勤して居らぬとか云ふ留守中に客の鞄や行李を開けて見たりする風があつて不良い外出の時は自分の覺へに一寸印をつけて置くのを知らずに開けても知れぬと思ふて居る不都合の事だ(チョンガー)▲此頃本町通り四ツ角の商店の二階に大きな博奕が出來る相だが少々遠慮しないと飛んだ事になるよ(風間子)▲大桝屋の若竹さん三丁目の番頭さんと新婚旅行が近よりました羨ましい(知らざる生)▲何日ぞやの貴紙平民文庫に總督府役人內職高利貸云々の記事ありしが同府鐵道局の者にもあり當驛々長もその一人なり內職所か本職の樣だ高利の抵當に地所を取つたり本職ソチノケだかあれでもよいでしようか驛長位になれば少しは品格を重ずる必要あるでしよねしかしその利息で上官に諂るとはよく出來てるですね夫れで上官も知つて知らぬ顔ですか聞きたいものです(瑞興生)▲此頃貴紙上に易斷揭載の天象子は何人の紹介を要せず時間に制限なく一般占斷の需に應せらる、や術謝禮は何程位にて宜しく候哉伺ひ度候(△○生)▲時間は早、晩ともに度を逸せざれば何時にても謝禮は何程と定めたる料金は無し(係)▲仁川稅關長の內に入る○○操と云ふ奴の高慢たらない(同役生)

第拾壹期決算報告

貸借對照表

負債之部

科目	金額
諸預金	六四三、七七一・九四
支拂送金爲替手形	一〇〇・〇〇
他店ヨリ借	六、九一三・二九
政府貸下金	一六五、〇九六・五〇
資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	七五、〇〇〇・〇〇
配當未濟金	七〇一・一九
前期推移金	一二、八〇四・〇二
本期純益金	二〇、一九三・七〇
合計	一、四二四、五八〇・六五

資產之部

科目	金額
諸貸附金	四九四、六一九・〇七
割引手形	四八六、三二八・七四
荷爲替手形	四一五・五五
有價證券	四六、二一六・九五
他店へ貸	二〇、二二八・〇三
預置金	二七、八三〇・六三
假拂金	六四七・三〇
拂込未濟資本金	二五二、一八七・五〇
營業用地所建物	二〇、五〇〇・〇〇
營業什器	一、二七二・〇〇
金銀現在高	七四、三二四・八八
合計	一、四二四、五八〇・六五

損益

一金二萬一百九十三圓七十錢五厘　當期純益金
一金一萬二千八百四圓二錢五厘　前期推移金
合計金三萬二千九百九十七圓七十三錢
此配當計算左ノ如シ
金二千圓　積立金
金五千圓　缺損補塡積立金
金一千七百圓　配當平均積立金
金一千圓　重役賞與金
金五千四百六圓六十五錢　配當金(年一割一株七十一錢宛政府所有株ヲ除ス)
金一萬七千八百九十一圓八錢　後期推移金

右ノ通リニ候也
明治四十五年一月
株式會社朝鮮商業銀行
銀行長　李鳳來
取締役　尹晶鉉
取締役　洪忠鉉
支配人　遠山熙
前記各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス
監査役　金漢奎
監査役　金鎭燮

●諸公債株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九九三 發電略(ク)

くだり病一切の特効薬 健胃固腸丸

主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて実効速なり ●常に貯へ置き朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を強くす

薬價 貳拾粒入五錢 四十五粒入拾錢 百粒入貳拾錢 三百粒入五十錢 七百粒入壹圓

本劑ハ全國到る所の賣薬店ニ取次販賣せり
にせ物あり御求の節は商標と谷回春堂印に御注意を

登録商標 大阪市東區伏見町堺筋角 本舗 谷回春堂 (電話東四五八番)(振替貯金番號八三〇)

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番



釀造元 兵庫縣灘 江井ヶ島酒造株式會社

發賣元 京城南大門通二丁目 百合正宗京城支店 電話一五一五番

大坂瓦斯コークス並に器具一式 國定教科書 文房具販賣 仁川新町二丁目 百崎金港堂 電話五百八番

特製品 䂓旗印 東京澤庵漬元卸 京城南大門通り二丁目 諸漬物御專業 鳴屋 電話九〇三番 振替貯金京城五七番 目下船毎に澤山着荷可仕候産地下落の爲め大安賣可致に付此際御買入御得策と存候

開業八週年を祝し 二月十五日より三月十五日まで 卸小賣共大割引賣出申候間多少に不拘御用命願上候 外に現金五十錢以上の御買上に對し景品進呈仕候

商品目録 櫻正宗、白鶴、澤鶴、九二正宗、いろ媛、九重味淋、九二味淋、ヒゲ田、龜甲萬、龜甲吉向、角京、の各醬油

丸二正宗 いろ媛 發賣元 龍山元町三丁目(電話三九番) 兼古酒店

效能ある温泉 鐵冷温泉 旅館並に浴客席貸 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行北横手) 廣安喜次郎 電話一四一一番



板材木門類販賣並に製材請負煉瓦疊表類、日本舗塗料 株式會社製品販賣 京城古市町二丁目 堀内商會京城支店材料部 電話一〇一一番 振替口座京城二〇六番

精神感應 催眠術 無催眠 諸病治療 惡癖矯正 ◎◎ 南山町一丁目 大剛庵 六十四番戸ノ一

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候 京城黄金町(銅峴) 株式會社十八銀行支店 電話四二〇番 五八〇番

○本店 長崎市 ○日本朝鮮の各要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候 ○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

◉貯蓄預金 ○元金百圓に付日歩一錢二厘 ○一口一錢以上何程にても御預り申候 貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

英國セフヒールナ市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品 鑛山用 鐵道用 具用 工用 地球鷲印八角鋼 同角鋼 同磨鋼 鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處滿鮮地方石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

京城本町五丁目 和洋金物商 釘本藤次郎本店 (電話四五番) 電信略號「ク」 振替貯金口座京城二五六番

東宮殿下御買上牛乳 京城博覽會一等賞金牌

洋種乳牛及朝鮮牛賣買 牛皮牛骨の賣買 入院随意 京城家畜病院 種豚山羊家禽種卵賣買 多木肥料販賣代理店

京城古市町八番戸 朝鮮畜産株式會社 電話八八番

比較ハ最良ノ選擇法ナリ



優等清酒 釀造元 攝津灘 山邑太左衛門 釀造高武萬余石 櫻正宗

京城明治町二丁目(漢城病院前) 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

市内到ル所販賣店有之候ニ付櫻正宗ト御指定御買上被下度候

元祖 食パン 菓子パンアンパン各種 總督府各官衙御用 陸軍御用 製造小賣商 京城太平町二丁目 相川兄弟商會 (電話一一八九番) 釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店 (電話二七六番)

株式會社 第一銀行京城支店 資本金壹千萬圓 積立金六百參拾五萬圓 明治六年設立 京城南山町三丁目 電話一一番 六一一番 振替貯金口座京城一一番 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

最上醬油 高 釀造元 仁川港萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番



京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏 (電話四百十二番)

紙と印刷 諸官衙御用 諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本 京城永樂町二丁目 播本(ハリモト)商店 電話百拾番

朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣) 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候 電話 參參壹番 貳六〇番 壹貳六壹番 六壹貳番

クシガタ印 野田最上醬油 野田町 (茂木總本家) 茂木七左衞門醸造

特約店 大日本麥酒株式會社 醬油 清酒 酢 宇治銘茶 和洋鑵詰 乾物荒物 薪炭 和洋酒類 穀物麪類 野菜果實 其他日用品一切

味噌醬油釀造元 諸漬物問屋 御贈答用進物品並に商品券調製仕候御用命の程希上候 京城本町五丁目(電話二百五十一番) 陸軍 諸官衙 御用達 大上友太郎商店

齒科診療 京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院 仁川仲町三丁目本永呉服店隣 野田齒科醫院分院

東京流納豆大安賣 特製 實味噌 御料理向 仁川本町三丁目 味噌製造 漬物問屋 たからや 電話七三七番

綿、呉服界御通信

◉呉服部御紹介 大島式御召新荷着 本場秩父夜具地類品揃 柄行並に品質の撰定は弊店の特色 御誂裔品調進致します

◉綿部御紹介 カード式製綿 吹綿、袋真綿全部品揃 滿る月缺ぐるの例に洩れず一時商價の綿類も安價となりました

◉地方部御紹介 御注文品は御來店と同様御安心遊ばす様丁寧迅速に御郵送申上ます

京城明治町二丁目 唐川呉服店 電話二六一番

商標 三味噌 京城南大門通二丁目 製造元 遠藤廣吉商店 (電話九八一番)

入院随意 京城壽町二丁目(電話三七八番) 中島醫院 院主 醫學得業士 中島貞信

キ 二月中 滊船出帆廣告

三菱丸 蒿島行 二月廿三日前九時
天草丸 海州行 二月廿三日前四時
成歡丸 屯串行 二月廿三日前五時
海利丸 大湖芝行 二月廿六日前十時
安來丸 仁川本町四丁目 二月廿一日 電話一七三番

合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町一丁目 電話七五〇番
秋田商會船舶部荷捌部 仁川本町海岸通 電話四一九番
荷客取扱所 柴田回漕店 仁川本町四丁目 電話五二二番 山本回漕店